

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 6月20日

高知地方裁判所民事部

裁判所書記官 富 田 浩 生

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 7月11日 午前 9時00分から 令和 7年 7月18日 午後 4時30分まで
開札期日	日 時 令和 7年 7月23日 午前10時00分 場 所 高知地方裁判所競売室
売却決定 期日	日 時 令和 7年 8月13日 午前 9時30分 場 所 高知地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 7年 7月24日 午前 9時00分から 令和 7年 7月25日 午後 4時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 7年 6月20日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。 なお、上記期間入札において買受申出がないときは、特別売却に付します。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	4,090,000 3,272,000	一括	818,000	105,915	0
1	850,000				
2	910,000				
3	2,330,000				

物 件 目 録

- 1 所 在 香南市香我美町徳王子字朝顔
 地 番 2301番1
 地 目 宅地
 地 積 305.45平方メートル

- 2 所 在 香南市香我美町徳王子字朝顔
 地 番 2301番2
 地 目 宅地
 地 積 330.00平方メートル

- 3 所 在 香南市香我美町徳王子字朝顔 2301番地1、2301番地2
 家屋 番号 2301番1
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺平家建
 床 面 積 139.86平方メートル
 (附属建物)
 符 号 2
 種 類 物置
 構 造 軽量鉄骨造スレートぶき平家建
 床 面 積 64.80平方メートル

物 件 明 細 書

令和 7年 5月13日

高知地方裁判所民事部

裁判所書記官 篠 原 真 央

1 不動産の表示 別紙物件目録記載のとおり
【物件番号1～3】

2 売却により成立する法定地上権の概要
なし

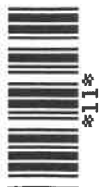
3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1～3】
なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号3】
本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項
なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。（このほか、B I Tのお知らせメニューにも掲載されています。）



物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 |
| | 地 番 | 2 3 0 1 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 3 0 5. 4 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 |
| | 地 番 | 2 3 0 1 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 3 3 0. 0 0 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 2 3 0 1 番地 1、2 3 0 1 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 2 3 0 1 番 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 3 9. 8 6 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 2 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 軽量鉄骨造スレートぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 6 4. 8 0 平方メートル |



令和 7年(ケ)第 1号
令和 7年 2月13日受理
令和 7年 4月 3日提出

現 況 調 査 報 告 書

高知地方裁判所

執行官 楠 本 賢 志

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|-------------------------------|
| 1 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 |
| | 地 番 | 2301番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 305.45平方メートル |
| 2 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 |
| | 地 番 | 2301番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 330.00平方メートル |
| 3 | 所 在 | 香南市香我美町徳王子字朝顔 2301番地1、2301番地2 |
| | 家屋 番号 | 2301番1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 139.86平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 2 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 軽量鉄骨造スレートぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 64.80平方メートル |

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■A（債務者兼所有者）	1 物件3の建物を住居として使用しています。 2 物件1及び2の各土地の境界について、争いはありません。 3 小便器の水の流れが良くないですが、物件3の建物に生活に支障のあるような不具合はありません。 4 私が購入してから現在までの間に、物件3の建物のリフォーム等はありません。 5 物件3の建物に、雨漏りやシロアリ被害はないと思いますが、分かりません。 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

執行官の意見



- 1 本件受命物件の占有関係は、関係人の陳述及び現況から2枚目記載のとおり認めた。
- 2 本件不動産の状況は、土地建物位置関係図、間取図及び添付の写真のとおりである。
- 3 物件1及び2の各土地は、一団の土地を形成し（以下、この一団の土地を「本件一団土地」という。）、物件3の建物の敷地として使用されている。物件1の土地と物件2の土地の境界は判然としないが、本件一団土地の範囲は、現況上概ね明らかである。
- 4 香南市役所での調査結果は次のとおりである。
 - (1) 本件一団土地は、非線引きの都市計画区域内に位置し、同土地の西側に接面する道路は、市道（建築基準法上の道路）である。
 - (2) 上記市道に香南市の上下水道が整備されており、上水道は物件3の建物に接続されているが、下水道は接続されていない。なお、下水道の接続を希望する場合には、受益者負担金等を負担する必要がある。詳細については香南市上下水道課で確認されたい。
 - (3) 物件1及び2の各土地は、香南市が実施する地籍調査事業の対象土地に該当している。担当職員によれば、地籍調査事業は終了していて、その成果が令和7年中に登記に反映される見込みとのことである。なお、地籍調査の成果が確定した際には、本件一団土地は合筆され、地番が2301番1に、地積が762.39平方メートルになるとのことである。
- 5 物件3の建物は、内壁や天井の変色など、経年による劣化損耗等が認められる。建物の状態等については、関係人の陳述を参照されたいが、なお、確認できる範囲で次のとおり補足する。
 - (1) 建物内の床に柔らかく感じられる場所がある。
 - (2) 縁側の天井に、シミ跡が見受けられる。
 - (3) 差し掛けの屋根が一部破損している。
 - (4) 一見して顕著な雨漏り被害やシロアリ被害は確認できなかったが、被害の有無は不明である。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(4 枚目)

(調査経過用)

調査の経過

調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年2月18日(火) 13:40-13:50	高知地方法務局 香美支局	公図公簿等調査
令和7年2月18日(火) 14:40-15:00	物件所在地	接道外観等調査(写真撮影)、占有関係等調査(不在、文書差置)
令和7年2月18日(火) 15:15-15:45	香南市役所	公法上の規制等調査、上下水道整備状況調査
令和7年2月18日(火) 16:35-16:45	高知地方法務局 香美支局	公図公簿等調査
令和7年2月19日(水) 16:00-16:15	香南市役所	地籍調査事業実施状況調査
令和7年2月25日(火) 14:20-14:30	物件所在地	占有関係等調査(不在、文書差置)
令和7年3月5日(水) 12:00-12:10	物件所在地	占有関係等調査(不在、文書差置)
令和7年3月11日(火) 13:00-13:50	物件所在地	占有関係等調査、立入調査(Aと面談、写真撮影)
令和7年3月25日(火) 10:50-11:05	物件所在地	建物調査(間取図確認)(A立会、写真撮影)

(特記事項)

- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行させて臨場した。
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。
- ☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

$S \div 1/500$

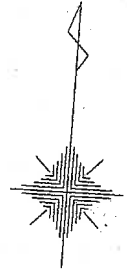


家屋番号 2301番1

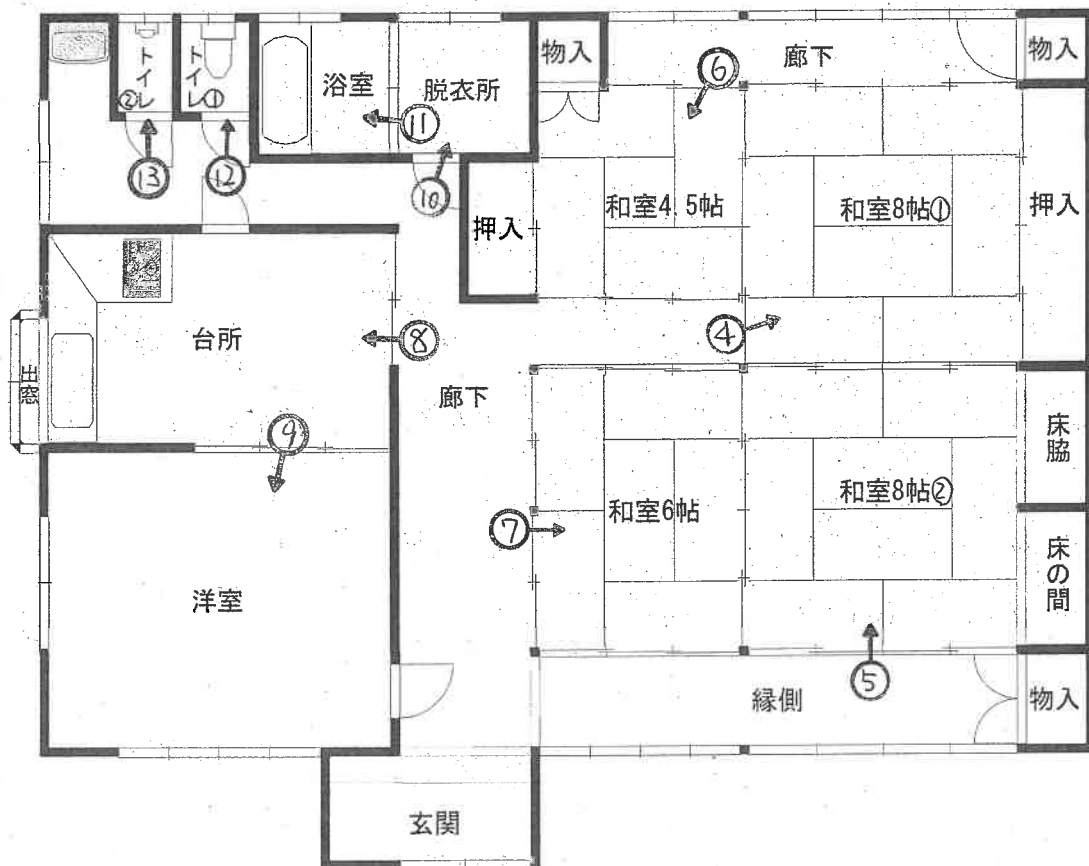
S≒1/100

間 取 図

物件3



主である建物



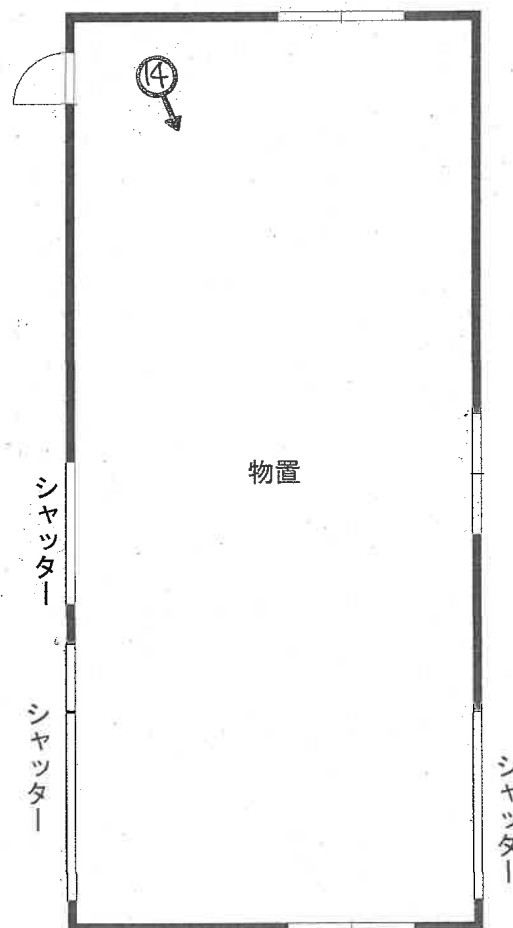
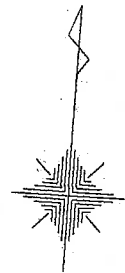
家屋番号 2301番1

S ≡ 1 / 100

間 取 図

物件3

附属建物符号2



1

物件3 主である建物



本件一団土地

本件不動産の状況

2

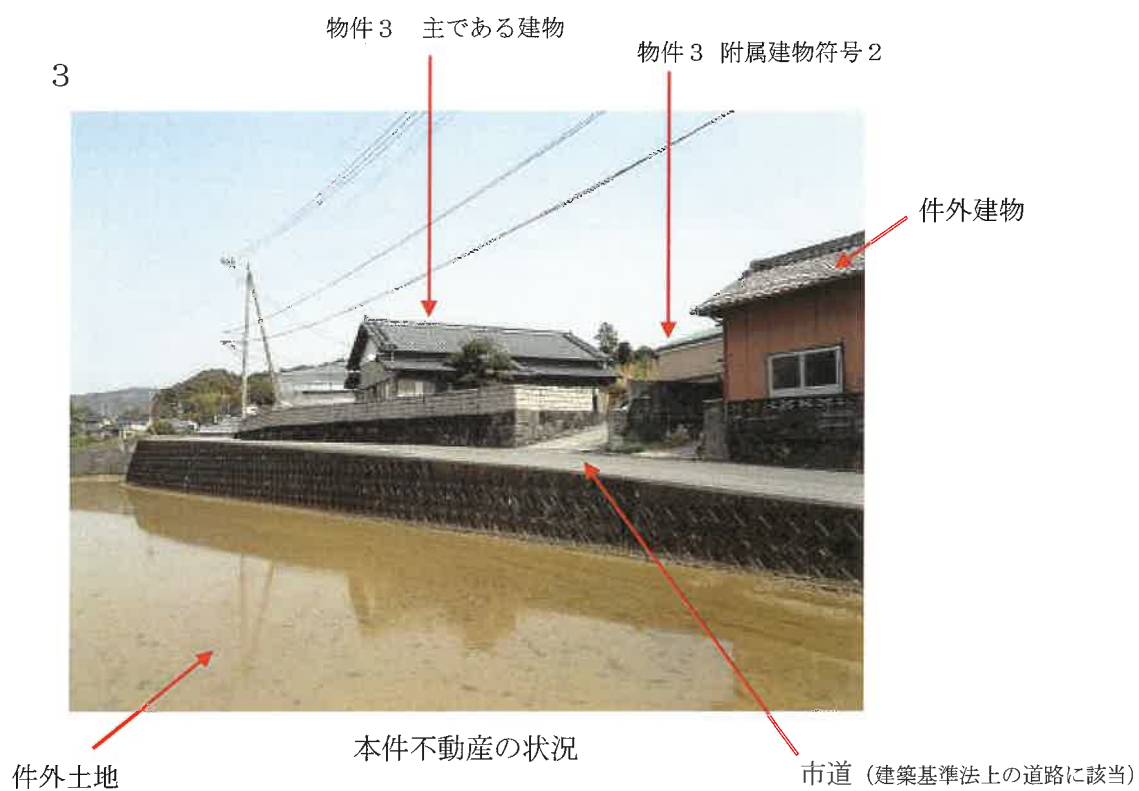
物件3 附属建物符号2



本件一団土地

本件不動産の状況

3



4



和室8帖①

（10枚目）

5



和室 8 帖②

6



和室 4. 5 帖

(1 1 枚目)

7



和室6帖

8



台所

(1 2枚目)

9



洋室

10



脱衣所

(1 3 枚目)

11



浴室

12



トイレ①

(14枚目)

13



トイレ②

14



附属建物符号 2 の内部の状況

(1 5 枚目)

令和7年 (ケ) 第1号
令和7年3月11日 現地調査
令和7年4月2日 評価

高知地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

橋 本 隆 行

第1 評価額

一 括 価 格	
金 4,090,000円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 850,000円
物件2（土地）	金 910,000円
物件3（建物）	金 2,330,000円

- 1 一括価格は、物件1ないし3の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1，2土地の内訳価格は物件3建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件3の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは、物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容も、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	香南市香我美町徳王子字朝顔 2 3 0 1 番 1 宅地 3 0 5. 4 5 m ²	「特記事項記載の とおり」
2	所 在 地 番 地 目 地 積	香南市香我美町徳王子字朝顔 2 3 0 1 番 2 宅地 3 3 0. 0 0 m ²	「特記事項記載の とおり」
3	所 在 家屋番号 区 分 種 類 構 造 床 面 積 区 分 種 類 構 造 床 面 積	香南市香我美町徳王子字朝顔 2 3 0 1 番地 1, 2 3 0 1 番地 2 2 3 0 1 番 1 主である建物 居宅 木造瓦葺平家建 1 3 9. 8 6 m ² 附属建物（符号 2） 物置 軽量鉄骨造スレートぶき平家建 6 4. 8 0 m ²	「特記事項記載の とおり」
番 号	特 記 事 項		
1, 2 3	物件 1, 2 の各土地は、一団の土地を形成し（以下、「本件一団土地」という。）、物件 3 建物の敷地として利用されている。物件 1 と物件 2 の相互の土地境界は判然としないが、本件一団土地の範囲は、現況上概ね明らかである。 本件一団土地を含む周辺地域は、地籍調査事業が終了しており、その成果が令和 7 年中に登記に反映される見込みであるとのことである。なお、地籍調査の成果が登記に反映された際には、本件一団土地は合筆され、地番が 2 3 0 1 番 1 に、地積が 7 6 2. 3 9 m²になるとのことである。 本件一団土地上には、石垣、ブロック塀、コンクリート舗装、庭石、庭木等の構築物等があるが、当該構築物等の単独での市場価値はないと判断した。 物件 3 建物は、下水道に接続されていないが接続は可能である。下水道を接続する場合には、受益者負担金等を負担する必要がある、詳細については香南市上下水道課で確認を要する。 物件 3 主である建物の東側に存する差し掛けは、主である建物の従物若しくは附合物と認定するが、いずれも単独での市場価値はないと判断した。 物件 3 建物には、経年使用による劣化損傷等が認められるものの、顕著な雨漏り及びシロアリ被害は、目視上確認できなかったが、その可能性は否定できない。 （※その他、詳細は現況調査報告書参照）		

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1，2）

位 置 ・ 交 通	土佐くろしお鉄道「香我美」駅の北方約2.6km（道路距離） 「香我美市民館入口」バス停の南東方約340m（道路距離）	
付 近 の 状 況	香南市香我美町徳王子地区に位置し、農地のなかに農家住宅等が散見される地域である。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	都市計画区域内（非線引） — 60% 200% 無 —
画 地 条 件	規 模 形 状 間 口 × 奥 行 接面道路との関係	635.45㎡（合計登記数量） 不整形 約35m×約25m 西側市道に一部概ね等高に接するほか、約0.5mから約1.3m高位に位置する画地。（土地建物位置関係図参照）
接面道路の状況	西：幅員約6.5mの舗装市道（建築基準法上の道路）	
土地の利用状況等	利 用 現 況 隣接地の状況	物件1，2土地は、一体として物件3建物の敷地として利用されている。 （東側）畑 （西側）市道 （南側）宅地 （北側）畑
供 給 処 理 施 設	上 水 道：あり ガス配管：なし 下 水 道：あり (注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	
特 記 事 項	土壌汚染の可能性について調査したところ、物件1，2土地には、有害物質使用施設等の届出はないが、現地での土壌汚染調査を行っていないため、土壌汚染の可能性は不明である。 物件1，2土地は、香南市教育委員会生涯学習課文化財係で確認したところ周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていない。	

2 建物の概況及び利用状況（物件3）

区 分	主である建物
建 築 時 期 及 び 経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）： 平成5年4月15日新築 経 過 年 数： 約32年 経済的残存耐用年数： 0年（ほぼ満了）
仕 様	構 造：木造平家建 屋 根：瓦葺 外 壁：サイディングボード，鋼板 他 内 壁：塗壁，クロス貼り 他 天 井：合板，クロス貼り 他 床 ：合板，畳 他 設 備：トイレ，浴室，台所 他
床 面 積 （ 現 況 ）	139.86㎡（登記床面積）
現 況 用 途 等	階 層 平家建 用 途 居宅 間 取 り （別紙間取図のとおり）
品 等	普通
保守管理の状態	やや劣る
建物の利用状況	現況調査報告書参照
特 記 事 項	

3 建物の概況及び利用状況（物件3）

区 分	附属建物（符号2）
建 築 時 期 及 び 経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）： 平成1年10月日不詳新築 経 過 年 数： 約36年 経済的残存耐用年数： 0年（ほぼ満了）
仕 様	構 造：軽量鉄骨造平家建 屋 根：スレート葺 外 壁：鋼板 内 壁：あらわし 天 井：あらわし 床 ：モルタル 設 備：特になし
床 面 積 （ 現 況 ）	64.80㎡（登記床面積）
現 況 用 途 等	階 層 平家建 用 途 物置 間 取 り （別紙間取図のとおり）
品 等	普通
保守管理の状態	やや劣る
建物の利用状況	現況調査報告書参照
特 記 事 項	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1，2）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番 号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格 (円) (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ
1, 2	13,600	下記	635.45	下記	5,870,000
内 訳 価 格					
1	13,600	0.97	305.45	0.70	2,820,000
2	13,600	0.97	330.00	0.70	3,050,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査基準地 香南（県）－2

価 格 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$$21,700 \text{ 円/㎡} \times 99.3/100 \times 100/100 \times 100/158 = 13,600 \text{ 円/㎡}$$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標 準 化 補 正：……1.00

◇地 域 格 差：……街路，接近，環境，行政条件等を考慮した。

イ 個 別 格 差：……形状，縄延び等を考慮した。

ウ 地 積：……登記数量による。

エ 建 付 減 価：……建物の現況等を考慮した。

(2) 建物価格（物件3）

目的建物の再調達原価を，建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め，これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて，建物価格を求めた。

番 号 区 分	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建 物 価 格 (円) (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ
3 主である建物	180,000	139.86	0.03	760,000
3 附属建物符号2	100,000	64.80	0.03	190,000
物件3建物合計				950,000

イ 現況延床面積：……主である建物：登記床面積による。

附属建物符号2：登記床面積による。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建 付 地 価 格 (円) ア	土 地 利 用 権 等 割 合 イ		土 地 利 用 権 等 価 格 (円) (万円未満四捨五入) ア×イ
1	2,820,000	0.50	法 定 地 上 権	1,410,000
2	3,050,000	0.50	法 定 地 上 権	1,530,000
土 地 利 用 権 等 価 格 合 計				2,940,000

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格 (円) ア	土地利用権等 価格の控除及 び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (万円未満四捨五入) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	2,820,000	-1,410,000		1.00	0.60	850,000
2	3,050,000	-1,530,000		1.00	0.60	910,000
3	950,000	+2,940,000	—	1.00	0.60	2,330,000
一 括 価 格 (合計)						4,090,000

ウ 占有減価修正：……考慮不要

エ 市場性修正：……1.00

オ 競売市場修正：……「第2 評価の条件」記載の競売市場の特殊性を考慮した。

第6 参考価格資料

1 地価調査基準地 香南（県）－2

所 在：香南市香我美町徳王子字明石1648番15外
価 格：21,700円/㎡
位 置：土佐くろしお鉄道香我美駅の北方約2.8km
新店バス停まで約110m
価 格 時 点：令和6年7月1日
地 積：215㎡
供給処理施設：水道，下水
接 面 街 路：北西9.7m県道
用 途 指 定 等：都市計画区域内（非線引）（建蔽率60%，容積率200%）
地 域 の 概 要：中規模一般住宅が多い県道沿いの住宅地域

2 固定資産税評価額（令和6年度）

物件1	2,906,662円
物件2	3,140,280円
物件3	5,337,056円（主である建物）
	530,061円（附属建物符号2）

ここに掲げた参考価格資料は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格にすぎない。

決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、ここに掲げた額とは、その性質上異なる額である。

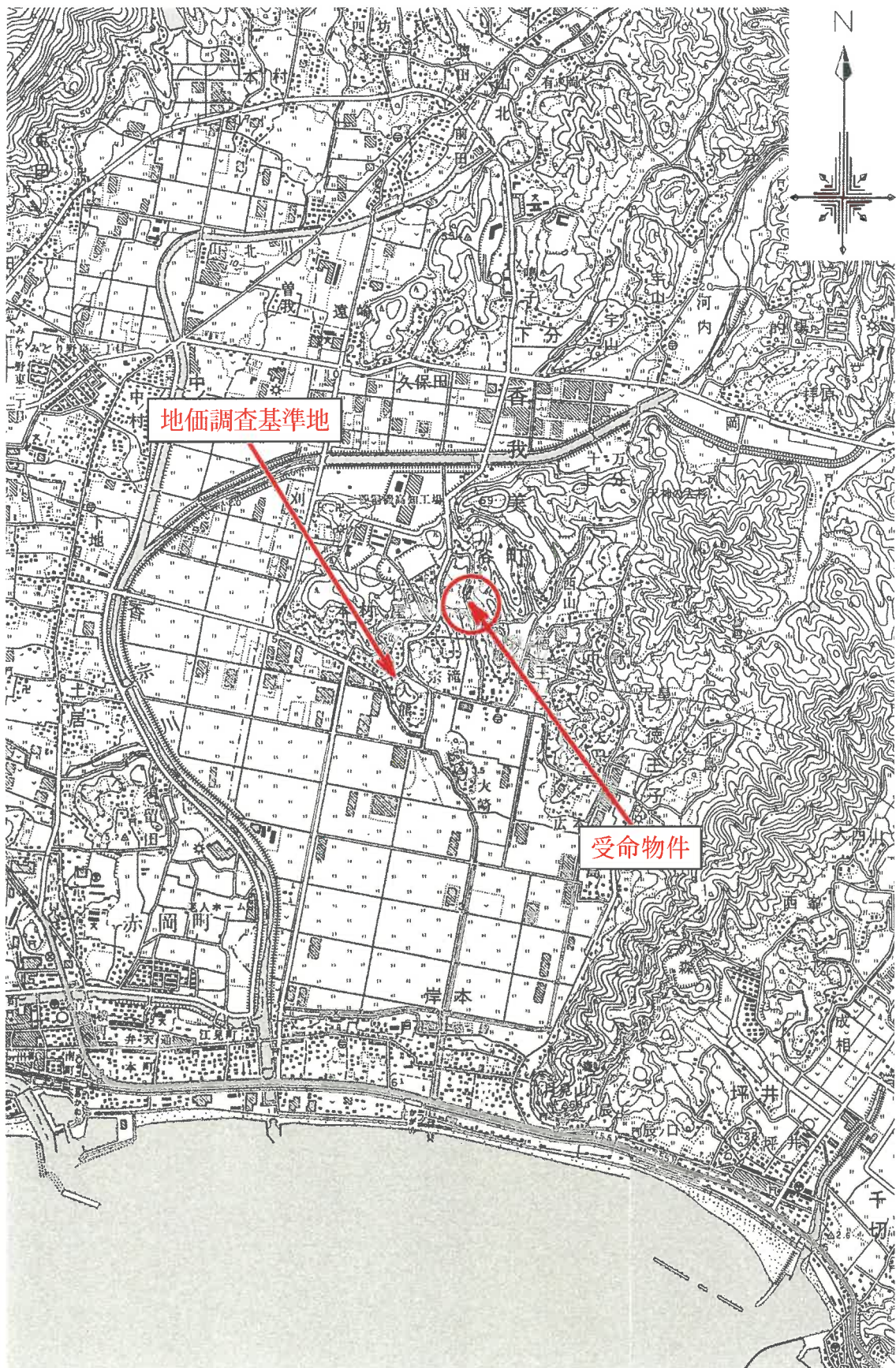
第7 附属資料の表示

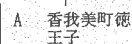
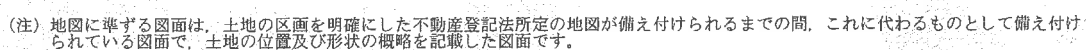
- 1 受命物件所在位置略図
- 2 公図写
- 3 建物図面・各階平面図写
- 4 土地建物位置関係図
- 5 建物間取図

以 上

受命物件所在位置略図

S=1/25000





請 求 部 分	所 在	香南市香我美町徳王子字朝顔				地 番	2301番1			
出 力 縮 尺	縮尺不明	精 度 区 分		座 標 系 又 は 記 号		分 類	地図に準ずる図面		種 類	旧土地台帳附属地図
作 成 年 月 日					備 付 年 月 日 (原図)			補 事 記 項		

令和7年2月18日
高知地方法務局香美支局
登記官

公用

登記年月日：平成18年11月21日

け No 09847

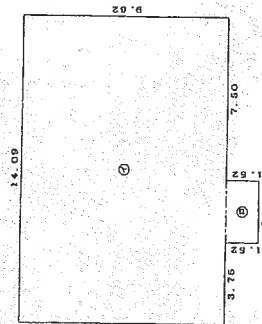
136153

建物図面

家屋番号 2301-1

建物の所在 香南市香我美町徳王子字朝顔
2301番地1・2301番地2

(主) 1 階

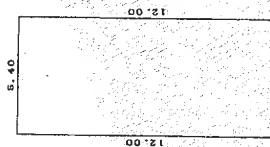


求積表

① $9.62 \times 14.00 = 135.5458$
② $1.52 \times 2.84 = 4.3168$

合計 139.8626
床面積 139.86 m²

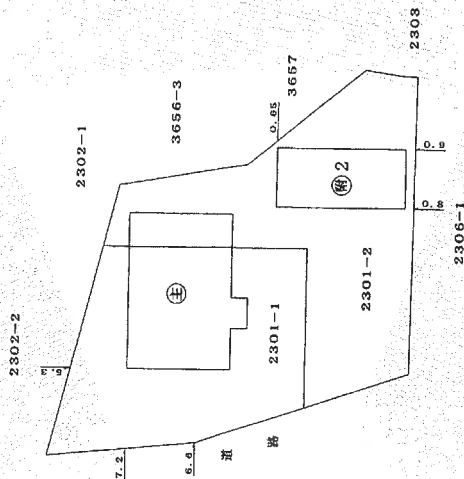
(附2) 1 階



求積表

$12.00 \times 5.40 = 64.8000$

床面積 64.80 m²



平成18年登記簿記載

作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(高知県土地家屋調査士会)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年2月18日

高知地方方法務局香我美支局

登記官

建物図面写

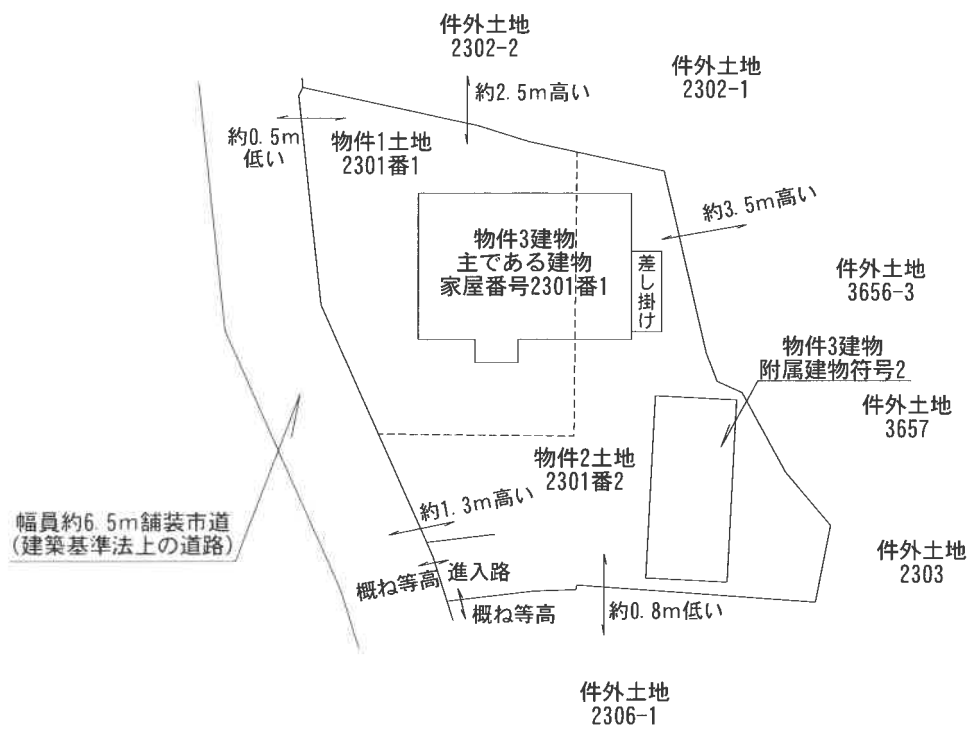
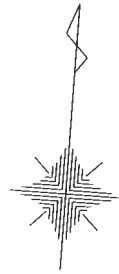
各階平面図写

物件3関係分

(A3をA4に縮小)

土地建物位置関係図

S ≒ 1 / 500

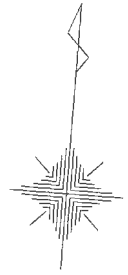


家屋番号 2301番1

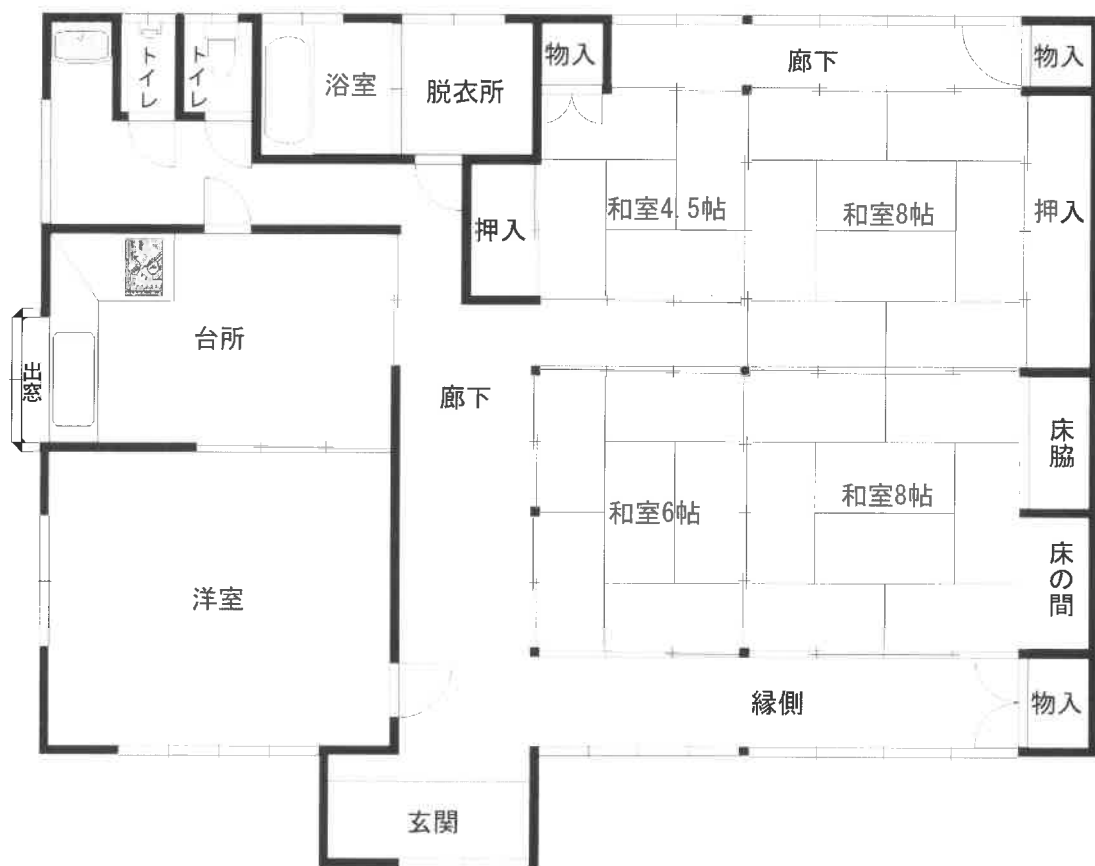
S≒1/100

間 取 図

物件3



主である建物



家屋番号 2301番1

S≒1/100

間 取 図

物件3

附属建物符号2

